

## 第27回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：平成31年2月12日（火） 10：00－11：47

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

松井座長、市川委員、小野田委員、倉本委員、藤井委員、山崎委員

(2) 有識者

常田 国立天文台長

(3) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

高田事務局長、行松審議官、須藤参事官、高倉参事官、山口参事官、森参事官

(4) 関係省庁等

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課

藤吉課長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

國中理事

宇宙科学研究所

藤本副所長

4. 議事要旨

(1) 宇宙科学・探査プログラム案の検討

<（資料1）フロントローディングについて>

事務局から、資料1を用いて、フロントローディングについて説明があった。

委員からは、以下のような意見があった。

○（3ページ目の図にある）「②我が国の強み技術として継続的な研究開発の推進」のフロントローディングについて、基盤経費で実施する研究との差がわかりにくいのではないか、どこからをフロントローディングと呼ぶのか明確にする必要があるのではないか。

○「①個別プロジェクト」のフロントローディングと、「②我が国の強み技術として継続的な研究開発の推進」のフロントローディングの差がわかるように、両者を別個のものに分けて説明をすることも考えられるのではないか。○（来年度予算案ではMMXのみであるが）今後の①の他プロジェクトへの展開や、②の導入等を見据えれば、JAXA全体としての推進体制をしっかりと構築する必要がある。

<（資料2）宇宙科学・探査プログラムについて（骨子案）>

事務局から、資料2を用いて、宇宙科学・探査プログラムの骨子案について説明があった。

委員からは、以下のような意見があった。

○当該文書の趣旨・位置付け、従来のボトムアップに対するトップダウンと

してのプログラム化、これまでのボトムアップの取組の課題に対する対応という点について記載があった方がいいのではないか。

○現在の記載は総花的で個々のプロジェクトの記載が目立つが、個々のプロジェクトは添付資料にするなど次回までにもう少し焦点を絞って整理していくべきである。

以 上